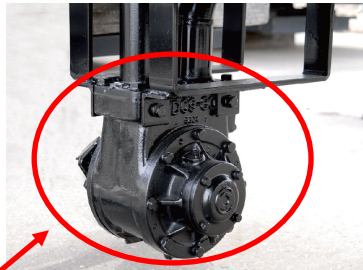


改善箇所説明図



車両外観



ベーンポンプ

【基準不適合発生箇所】

危険物(灯油・軽油)配送用のタンク車において、極低温時のベーンポンプ内軸シールの性能評価が不十分であったため、極低温状態では軸シールの追従性が悪くなり、シール性能が低下するものがある。そのため、極低温の環境下で、危険物の排出操作を行うと、ベーンポンプにより加圧された危険物が軸シールからベーンポンプのベアリング部に浸入し、ベーンポンプのリリーフフィッティング部から漏れだし、最悪の場合、漏れた危険物が、排気管等の高温部に付着することで発火し、車両火災に至るおそれがある。

【改善の内容】

全車両、ベーンポンプを対策品に交換する。

【識別方法】

改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカ付近に、No. 3150のステッカーを貼付する。